



あじさいネット OFF LINE 通信

vol. 11



「左：藤山神社の藤 右上：西海橋の渦潮と桜 右下：ハウステンボスの観覧車」
写真提供：坂口 洋司 先生(久保内科病院 院長)

目次

会員様の声

みやしたリマチ・内科クリニック	宮下 賜一郎 先生	2
奥平外科医院	奥平 定之 先生	3
久保内科病院	坂口 洋司 先生	4
らいふ薬局 松浦店	島田 浩一郎 先生	5

情報提供病院のご紹介

虹が丘病院 地域医療連携室	6
---------------	---

「あじさいネット」キーパーソンに聞く

長崎県福祉保健部 医療政策課／医療人材対策室	7
------------------------	---

創立 10 周年記念「第 5 回あじさいネット研究会」

レポートおよび実施アンケート集計結果発表	8～14
----------------------	------

現在の運用状況

(平成 26 年 6 月 15 日現在)

患者登録数	36,831 名
(全件あじさいネット説明同意書 取得済)	
会員数	387 名
情報閲覧施設数	227 施設
(内、薬局数 43)	
情報提供病院数	23 施設

賛助会員

- (株)ホギメディカル福岡営業所
- 日本電気(株) 医療ソリューション事業部
- (株)LSI メディエンス
- 富士通(株)長崎支店
- (株)NTT データ 公共システム事業本部
- 山下医科器械 (株)

基本理念

地域に発生する診療情報を患者さまの同意のもと、複数の医療機関で共有することによって各施設における検査、診断、治療内容、説明内容を正確に理解し、診療に反映させることで安全で高品質な医療を提供し、地域医療の質の向上を目指すものです。



『関節リウマチの高度専門医療をクリニックで実践する』ことを目指しています。



・ DOCTOR'S PROFILE ・

H 9年 長崎大学医学部卒
H21年 長崎医療センターにて
リウマチ科医長/総合診療科医長 兼任
H25年8月 みやしたリウマチ・内科クリニック 院長
開院と同時にあじさいネット入会

「あじさいネット」利用を前提にしたクリニックを開院

■ 「あじさいネット」利用を前提にしたクリニックを開院

■ 自身が10年間、長崎医療センターに勤務していたということもあり、また、あじさいネットに関連が深い先生方が近くにおられましたので、あじさいネットは自分にとって大変身近な存在でした。開業を志した際も、基幹病院の情報をクリニックで閲覧できるシステムというのは、専門診療を行う上でのキーとなる存在だと感じていました。医療センターにいた時と同じような診療レベルをクリニックでも実践することが、私の目指しているところでしたので、昨年8月、「あじさいネット」利用を前提にデザインしたクリニックを開院いたしました。

■ 開院後もうすぐ1年が経過しますが、あじさいネットにアクセスしない日はありません。基幹病院でしかできないような検査や画像などのデータを、あたかも自院のデータのようにクリニックの診察室で確認できるので、日々の診療、

大村市幸町

みやしたリウマチ・内科クリニック

みやした たいいちろう

宮下 賜一郎 先生

TEL : 0957-47-5555 E-mail: naonao220@gmail.com

自己研鑽含めて大いに役立っています。患者さんも医療センターと繋がっているというところで、大変安心されます。

◆ **検査データ等を活用し、患者さんにとって最適な診断・治療を**

最近のリウマチ診療においては、バイオ製剤という特殊な注射剤を内服薬と併用して使います。その併用する内服薬もメトトレキサートという抗癌剤としても使われることのある強い薬を使いますので、治療を始める前に詳細な検査が必要となります。特に、CTなどの画像検査は重要です。そのため、患者さんには医療センターで画像検査を受けていただき、その足でクリニックに来ていただいています。私の方では、患者さんが来院されるまでの間にあじさいネットで合併症や他の診療科の受診歴を参照し、どういう疾患を合併しているかを確認しています。肝臓や肺に疾患があると使用できる薬が制限されますので、肝臓内科や呼吸器内科の医師記載内容は、特に気を付けています。そして、来院された患者さんにその結果を説明し、一番適した薬を選択した上で治療に進みます。

あじさいネットを使用することで重複する検査を省くことができますし、逆に、医療センターで実施していない検査で、我々が必要なデータがある場合には、患者さんに理由を説明し、納得していただいた上で検査を受けていただくことができます。また、紹介状に全ての診療内容を記載してもらうことは難しいので、あじさいネットで詳しく確認ができる点も大変役に立っています。

■ クリニックが果たす役割 ■

最近では、リウマチを発症されても、まず変形は起こりません。発症して間もない頃は関節が腫れていますが、すぐに治療に入り薬が効き始めると、寛解状態になって症状が落ち着いてきます。日常生活も不便を感じませんし、普通にスポーツもされています。しかし、治療は継続が必要です。皆さん定期的に来院されます。そうすると、知らない患者さん同士が仲良くなり、顔見知りになっていきます。発症間もない方は不安いっぱいですが、周りの方が「すぐよくなるからね」と言って励ましてくれるんですね。その元気な方も同じ過程を経て今の状況があるので、新しく来られた患者さんの気持ちが手に取るようにわかるからです。それはとても大きなことだと思います。

治療を行うだけではなく患者さん同士の情報交換・交流の場としても、クリニックの果たす役割は重要です。毎月の通院を少しでも楽しく感じていただけるように、明るい雰囲気と居心地の良い空間作りを常に心掛けています。



◆ **現在の一方通行のシステムから、双方のシステムへの展開を期待しています。**

◆ 現在、基幹病院側から情報を発信し、クリニック側が閲覧するという一方通行のシステムですが、治療方針と一緒に考えていく上でも、できればこちらの情報や検査データなども基幹病院の先生方に見ていただけたらと感じています。当院では、一般検血・生化学データは約20分で結果が判明し、外注データもオンラインで自動的に取り込まれるようになっていっていますので、そのデータも共有することができたらいいなと思っています。基幹病院と診療所や薬局がお互いに情報を発信し、より気軽に意見交換が行えるようになれば、さらなる診療の質向上へと繋がるのではないかと思います。

在宅医療には情報提供病院との連携、多方面からの情報がなくてはならない

た。それ、学習効果があります。外傷で紹介した患者さんが、基幹病院でのMRI、CT検査で考えていた以上の外傷があったりしたことあります。経時的変化も見れて勉強になりました。

◆病院に問い合わせることなく
あじさいネットで正確な情報を◆
今までは基幹病院を受診したことがある患者さんが直接来院された場合、患者さんから病院での処置内容、説明内容をお聞きするだけで正確性に欠けていました。情報提供病院にかかっている患者さんだったら、あじさいネットを利用すると、医師や看護師の記録を見ることができ、医療者と患者さんの理解度が同じか、また違っているのかを、病院側に問い合わせることなく診療内容を知ることができます。疾患名が難しい場合、長い場合には患者さんは覚えておられないことが多いです。内服薬の内容や、抗凝固剤の内服があるのか、注射や小手術が必要な場合に、お薬手帳を忘れられていてもあじさいネットによって調べることができます。



DOCTOR'S PROFILE

S62年 久留米大学医学部卒
H19年 奥平外科医院勤務
H21年よりあじさいネット会員
■奥平外科医院 院長

長崎市梁川町 おくだいら さだゆき
奥平外科医院 奥平 定之 先生

TEL : 095-861-5050 E-mail : sokudai@nagasaki-u.ac.jp

また、あまり聞いたことがない疾患名の場合、退院サマリー等を見ることによって勉強になります。

◆あじさいネットから専門性の高い、多くの情報が診断に役立ちます◆
あじさいネットを使用すると病気を診断していく上での情報をたくさん得られます。当院は外科の診療所ですが、患者さんの中には開業医と基幹病院にかかる疾患を分けて、外科には内科的なことはわからないだろう、話をしても一緒だと思われている方が中にはいらっしゃいます。しつこく問診をすれば防げるのですが、そのような場合にもあじさいネットは役立ちます。

在宅医療では、時にいきなり末期の状態の患者さんを受け持つことがあります。それまでどのような治療経過があるのか、どのような説明がされているのか、理解度はどの程度か、患者さんだけでなく家族との関係性等を遡って把握できるので非常に便利です。

◆あじさいネットの広がり期待◆
開示情報が少ない病院にはもっと開示してほしいです。また、使用されていない先生にはあじさいネットの利便性を理解して頂き、あじさいネットの“輪”が広がればと思います。患者さんのためには不必要な検査が省かれますし、自分たちに必要なデータを得ることができ、自分で診療に役立ちます。また、最近始まった、在宅での多職種連携手段として、iPadであじさいネットを利用する“地域包括ケア”をどのように活用していくか考えることが今後の楽しみです。

◆迷ったら動く！◆
モットーというか常に思っていることは、迷ったら動く。即断即決じゃないんですけど、どうかな、こうしたらいいかなと思ったりまぜ動いてみて、駄目ならまた考えます。勘を大事にしながら迷ったら先に動くようにしています。

◆歩いて気分転換◆
体を動かし、汗をかいて気分転換しています。史跡を見るのが好きなので、ちよつとした時間を見つけては、寺町とか、長崎の古い教会を歩いて回っていますね。研究会や学会など他の町に行った時も、その町の雰囲気を知るために歩いていきます。

蒸気機関車とカメラ

鉄道が好きです。特に蒸気機関車がいいですね。思い出がある蒸気機関車が静態保存されていてたまに見に行きます。ふっと昔が懐かしくなったときに思い出します。郷愁なんですか？公害をまき散らしながら走るの、今の時代には合いませんが、走る姿を身近で見ると“生きてる！！”と感じさせてくれると思います。

小学生の頃から蒸気機関車の写真を撮り始めました。中学生の時は写真部にも属し、自分で現像したり、引き伸ばしたりしていました。当時はフィルムだったので、夜間に撮影した際に条件をうまく合わせることができず、全く撮れていないこともありました。今では使いませんが、フィルムは現像するまで撮れているかどうかかわらなくてドキドキワクワクでした。それも懐かしいです。

佐世保市医師会が新規入会して約2年、あじさいネットは「病診連携の要」です。



・DOCTOR'S PROFILE・

S50年 長崎大学医学部卒
H24年 あじさいネットに入会
◆ 現在、久保内科病院 院長／専門：消化器内科

◆ 入会のきっかけ ◆
佐世保市医師会 医療情報システム委員会の委員をしています。現在の委員長は、佐世保中央病院の米満 伸久先生でいらつしやいますが、米満先生の前の委員長を私がしております。そのご縁もあり、委員会から「あじさいネット」の紹介を受け、正式に入会する流れとなりました。

◆ あじさいネットを利用して役に立ったこと ◆
市内の4つの基幹病院（佐世保市立総合病院・佐世保中央病院・長崎労災病院・佐世保共済病院）へ患者様を紹介した際、入院中の経過を随時当院でも確認できるので、とても役に立っています。まだ充分に使こなせていませんが、今後利用していく中で便利で興味深い活用

佐世保市田原町
久保内科病院さかぐち ひろし
坂口 洋司 先生

TEL : 0956-49-3377

E-mail: sakachan0529@gmail.com

方法を発見できればと思います。

◆ 地域医療の中でのあじさいネットとは ◆

あじさいネットを利用することにより、逆紹介で患者様が戻って来られた際、基幹病院でどのような治療を受け、どのような種類の薬を処方されたのかといったことや、その他にも入院中の患者様の病状についての詳細な記録等、当院で継続して診療・治療を行うていく上で、必要な情報が診察室のパソコン上でわかりますので、非常に有用なツールだと思っています。また、相手先の先生にお時間を割いていただかなくてはならない手紙や電話のやり取り以上に、多くの情報をあじさいネットで詳しく確認できます。このことからあじさいネットは、地域の病診連携の要のシステムだと思っています。

◆ 今後、あじさいネットに期待すること ◆

◆ 期待すること ◆
現在、長崎地域でiPadのテスト利用が行われていますが、佐世保でも早く利用ができるようになってほしいですね。普段診療中は、あじさいネットのパソコンを立ち上げていないのですが、いざ必要になった時に立ち上げようとすると、結構時間が掛かってしまいます。その点、iPadですと、立ち上げてから利用できるようになるまで数秒で済みますので、外来診察室から基幹病院への素早いアクセスが可能となり、何かと忙しい外来診療で非常に役に立つと思います。

また、場所を選ばない点もiPadを利用する上でのメリットですし、訪問診療のチームにおいてiPadでも診療情報はもちろん

画像等も利用でき、とても便利ではないかなと思います。

◆ 先生ご自身について伺いました ◆

◆ 先生ご自身について伺いました ◆
自分は、元々が楽天的な性格で、「いつでも何事もなるようにしかならない」「何とかなるさ」という気持ちを持って生活しています。8年程前からはアルトサクスを習い始め、好きなジャズの曲を演奏するため、日々練習に励んでいます。また、旅行も好きで国内・国外を問わず様々なところに行きます。旅行前には 구글ストリートで目的地へ行くシミュレーションをしてから、実際の旅行に臨んでいます。そんな感じで旅行の半年前くらいから楽しんでいきます。

●● Photo Library ●●

★長崎ランタンフェスティバル★



上の写真は、今年のランタンフェスティバルの時に撮影。右側のバラの写真は、今年の5月18日にハウステンボスで撮影。

今月の表紙写真も、坂口先生が提供してくださりました。先生、ありがとうございました！！

多くの趣味をお持ちの坂口先生。2年前に一眼レフカメラを購入してからは、納得の行く写真を撮るために、雑誌片手に日々研究をされているそうです。様々な場所を巡りながら、素敵なお写真をたくさん撮影されています。

★ハウステンボスでのバラ祭り★



先生の治療方針と投薬時の説明がカチッと合わなければならない



島田 浩一郎 先生 PROFILE

S63年 熊本大学製薬学科卒
H25年よりあじさいネット会員
■管理薬剤師

◆あじさいネットへの入会◆

保健所で地域医療の部署に勤めていた時、あじさいネットに長崎大学病院が参加され、いよいよ長崎にも入ってきたので佐世保にも入らないかなと思っていました。その頃は、検査データや紹介状の内容もわからなかったですし、薬局の先生と連絡を取りたくても思うようにならない、受け皿がないというのが不満でした。薬局では処方箋と患者様とのお話だけを頼りにアプローチしなければならぬので、先生の治療方針やどこまで説明されているのかというのかがわからないと患者様と十分にコンタクトが取れませんから。あじさいネットには前から興味を持っていて機会があれば入りたいと思っていましたが、その時がきた時には速攻で入会しました。

佐世保市松浦町

らいふ薬局 松浦店

しまだ こういちろう

島田 浩一郎 先生

TEL : 0956-29-3210 E-mail:k_shimada@life-jp.com

◆安心していただける説明をするには

医師の方針に基づいた情報が必要◆

患者様は、先生からの説明や検査値がどのような状態を表しているのかわからなくて考え込まれていたり、テレビやネットで得た情報で不安だけでも相談ができないでいらつしやることがあります。そんな時、検査値や医師の処方意図がわかれば薬剤師として、積極的に、わかりやすい言葉で、患者様のペースに合わせたお声掛けができます。ただ単にお声掛けしているだけではなくて、ちゃんとデータや医師の方針に基づいているんですよと言うと安心されます。

今どこをマークされているかわかるのとわからないのでは全然違いますし、どこに問題や引っ掛かりがあるのか捕まえる上でも、あじさいネットで得られる情報というのは外せないです。先生の治療方針と、投薬時の説明はカチッと合わなければいけません。もし声掛けしても最初にずれがあったら後々埋められないことになってしまいます。ですから、最初の声掛けを特に大事にしています。

◆あじさいネットで

薬剤師間の情報共有に期待◆

転院時には薬剤師も関与しているはずなので、引き継ぐために指導状況がわかるよう、薬剤師間での情報があじさいネットの中に反映できたらいいなと思っています。

それと、半年毎に経過を見ている患者様を紹介元の開業医の先生が定期検査されている場合、そのデータを医師会のサーバーで閲覧できるようにするのがあったらいいのかなと。薬剤師の

◇座右の銘

「温故知新」

伝統を引き継ごうと思い、漢方を学んでいます。

◇感銘を受けた詩

サミュエル・ウルマンの「青春」

高校生の時に感銘を受けました。青春とは心の若さです！

立場からすると、相談を受けてもなかなか先生方と話ができないので、状況やサマリーを向こうでも見れ、こちらも薬剤師会のサーバーを立ててデータを上げておくこととリンクで見られるようなシステムに発展していくことを期待しています。

◆新しいことに首を突っ込む

とりあえずやってみよう◆

「週末は東京人」をやっています。漢方を学びに「朴庵塾」セミナーへ行ったり、新しいこと、面白そうなことがあったら首を突っ込みます。最近では演劇の「スタニスラフスキーシステム」を受けて、感銘。その新作演劇を見に行くのが楽しみです。

また、これからの薬剤師の必須スキルである「コーチング」トレーニングを受け、プロとしてのライセンスを取得しました。

その他、「フォトリーディング」や「マインドマップ」が使えるようになり、仕事に趣味にとっても役に立っています。読むスピードもアップ、情報量、選択肢も増え、チャンスも広がり、本当に楽チンになりました。「TPIE」(セルフコーチングプログラム)とともに、超おすすです。

情報提供病院のご紹介

虹が丘病院 地域医療連携室

虹が丘病院は、平成 25 年 6 月に診療情報提供をスタートしました。

「高度な医療、チーム医療、地域連携」を基本理念・方針とし、地域に根ざした医療の提供を行っています。

◆◆ Message / 富永 雅博 病院長 ◆◆

とみなが まさひろ

開放型病院として、

地域医療連携に取り組んでいます。

当院では、地域連携の取り組みとして、地域医療連携セミナーを年に数回、開催しています。このセミナーでは、近隣の先生方に来ていただき、当院の専門分野の取り組みについてご紹介し、意見交換を行っています。また、開放型病院としての取り組みとして、当院の手術室を、外科クリニックの先生方に開放しています。開業医の先生方は、手術を行うための設備をご自身のクリニックで完備することは難しいので、当院の手術室を利用していただき、先生ご自身が患者様の手術を行えるようにしています。

患者様のより良い療養生活のために現在の病院は、病気を治療することはもちろんですが、患者様の退院・在宅に向けての環境を整えるという役目もあると思います。今後、在宅医療等を展開していく上では、あじさいネットで双方のやり取りができるようになることを情報提供病院側としても期待しています。情報を提供する側と閲覧する側がお互いに持っている情報を、あじさいネット



DOCTOR'S PROFILE

H 元年 長崎大学医学部卒

◆H26 年 4 月より現職

飼い犬のアール君が日々の疲れを癒してくれます。

トを通して共有し意見交換を行うことで、患者様のより良い療養生活に繋げていくことができると思います。情報を提供する側として、診療所の先生方の希望に沿うための最善の方法を考え、先生方のお役に立ちたいという気持ちで日々の業務を行っています。情報提供病院側からも患者様の他院での病歴や検査歴、投薬歴等が確認でき、現在より更に良い診療に活かしていけたら理想的だと思います。

●虹が丘病院の新しい取り組み●

『地域包括ケア棟』

当院では今年度の 4 月から地域包括ケア棟(20 床)を長崎市で初めて新設いたしました。この取り組みは、急性期病院の病床数を 9 万床減らすという厚生労働省の方針に対する救済処置の意味合いもあります。大学病院等で治療を受けられた患者様が退院される際、自宅に帰るにはまだもう少し様子を見た方がよい場合や、リハビリが必要な場合に当院で患者様を受け入れ、状況が安定してから在宅療養に入っていただくというものです。

『大腸カプセル内視鏡』

大腸カプセル内視鏡の導入に向けて、本格的に準備を進めてまいりました。県下初、長崎県では一例目として、今年度の 6 月からスタートしております。

『女性外科外来』

今年度の 4 月から、大学病院で乳腺・内分泌外科を専門にされている女性の先生に来ていただき、毎週月曜日に女性外科外来を行っています。乳腺や甲状腺疾患など、女性特有の

病気を診るための女性専門の外来として、開設いたしました。痔やヘルニアなど男性医師に相談しにくい症状などもお気軽ににご相談いただければと思います。

◆地域医療連携室より

《診療所の先生方へ》

患者様が当院に来院される前に、診療所の先生から、あじさいネットのカルテ公開依頼が届くことがあります。患者様がまだ来られていませんので、当然カルテも作成されていません。公開できる情報そのものが存在せず、お電話で状況を確認させていただいています。患者様の来院が後日になる場合や、来院の予定が決まっていない場合には、同意書を FAX いただく際に「来院時期は未定」とか「〇月〇日頃に来院予定」など、一言どこか欄外に書いていただくと助かります。



富永院長と地域医療連携室の皆様

後列左側より、富永看護師長、社会福祉士の前田 歩さん、前列左側より、富永院長、社会福祉士の佐藤 真美さん、小方 優子さん、森 薫さん。虹が丘病院では、登録完了 FAX を送信するまでの一連のカルテ公開作業を連携室のスタッフ全員が短時間で確実にこなすようにするために、専用のシステムを構築し、万全の体制で日々の業務に臨んでいます。

「あじさいネット」キーパーソンに聞く 長崎県 福祉保健部 医療政策課／医療人材対策室

4月の人事異動で新体制となった、長崎県 福祉保健部の皆様にご挨拶に伺いました。今回は、地域医療再生基金事業など、「あじさいネット」をご支援いただいている5名の方々に、一言ずつコメントをいただきました。

医療政策課 地域医療班

◆◆ Message / 参事 中村 浩二 様 ◆◆

あじさいネットは、長崎県内の地域医療連携ネットワークを支える重要なツールです。県では地域医療再生基金を活用して地域の拡大と機能の充実ということで支援を行ってまいりました。あじさいネットは、官主導ではなく、利用者側が主体となって運用していることが、成功している理由の一つだと思っています。今後も、医師会とも連携を取りながら、県として可能なことは頑張っていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。



医療人材対策室 医師確保推進班
主任主事 山田 圭司 様

県では長年、遠隔画像診断サービスを行っております。昨年度からあじさいネットのシステムを利用していますが、より安全な医療情報や高品質な画像データの提供等、更なる医療の充実につながることを期待します。



医療政策課 地域医療班
主任主事 山崎 俊暢 様

あじさいネットは、初期投資で助成を受けた後は、経済的に自立した事業モデルを作っており、医療の分野に限らず先進的な取り組みですので、これからも頑張っており進めていってほしいと思っています。



医療政策課 地域医療班
係長 中村 直輝 様

4月から医療政策課に配属になりました。周産期医療支援システムを担当しています。森崎先生や松本先生と協力し、今後更に参加者を増やしていきたいと思っています。よろしくお願いいたします。



福祉保健部 医療政策課の皆様方

前列中央：医療政策課 課長 三田 徹 氏
左側： 統括課長補佐 岩崎 次人 氏

撮影にご協力いただき、ありがとうございました。

◆キーパーソンズ
for あじさいネット



医療政策課 地域医療班
臨時嘱託職員 梶谷 典子 様

高齢化が進むにつれ、あじさいネットは、ますます必要なシステムになっていくと思います。産休代替としてお世話になっていますが、きちんとバトンが渡せるように事業を進めていきたいと思っています。

創立10周年記念 第5回あじさいネット研究会 REPORT

～在宅医療に於ける「あじさいネット」活用の価値と可能性～

日時：2014年5月10日（土）14時～18時 / 会場：シーハットおおむら さくらホール

5月10日（土）大村市幸町「シーハットおおむら」にて、創立10周年記念第5回あじさいネット研究会が開催されました。全国より260名の方にご参加いただき、会場内は多くのご来場者で賑わいました。

今回は、全国的にも最重要課題となっている『在宅医療』をテーマに、ICTネットワーク（あじさいネット）を在宅医療に活用している皆様から現状の課題や成果等をご発表していただき、意見交換を行いました。

エントランスホールでは、創立10周年記念特別企画としてパネル展を開催し、この10年を振り返り「あじさいネットを支えてきた方々のコメント」や「あじさいネット効果に関するユーザーアンケート」等の展示を行い、多くの方にご覧いただきました。

＜総合進行：独立行政法人国立病院機構長崎医療センター副院長 藤岡 ひかる先生＞

■あじさいネット 小尾 重厚会長を筆頭に、厚生労働省 医政局指導課 医師確保等地域医療対策室 課長補佐 佐藤礼子氏、長崎県医師会副会長 高原 晶氏、長崎県福祉保健部次長 堀部 芳夫氏よりご挨拶を賜りました。

■第1部では、あじさいネットの利活用に関し、これまでの成果や課題等について診療所として、谷川放射科胃腸科医院副院長 谷川 健先生、南野病院院長 南野 淳先生、長崎中央調剤薬局より高木 由美先生、また、あじさいネットの最新機能と展望について、長崎大学病院准教授 松本武浩先生よりご発表いただきました。

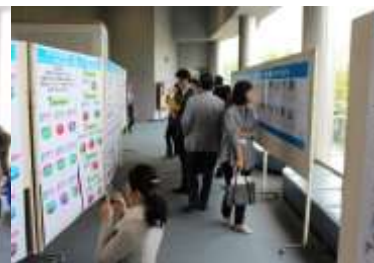
【座長：長崎県医師会常任理事 牟田 幹久先生】

■第2部では、『在宅医療に於ける「あじさいネット」活用の価値と可能性』について、パネルディスカッション形式で在宅医療に関わる医師、薬剤師、看護師、地域連携センターの各立場からご発表いただき、総合討論では場内の参加者も交え、熱い議論が交わされました。

【座長：出口外科医院 副院長/長崎在宅Dr. ネット理事 出口 雅浩先生、パネラー：大村市医師会在宅看護支援部長 酒井真弥子様、田崎医院院長 田崎 賢一先生、セントケア訪問看護ステーション長崎みなみ所長 岡野 千鶴様、たくま医院院長 詫摩 和彦先生、アクア薬局本店 佐田 悦子先生、長崎大学病院 地域医療連携センター センター長 川崎 浩二先生】

■最後に厚生労働省 研究開発振興課医療技術情報推進室 室長補佐 高尾 洋之氏による講評・総括で締めくくられました。

■研究会終了後、懇親会が長崎インターナショナルホテル「典麗の間」にて行われ、2013年の「あじさいネット新規患者登録数」が最も多かった谷川 健先生が、あじさいネット 小尾 重厚会長より表彰されました。



「あじさいネット」効果に関するユーザアンケート回答 第1次集計結果 発表!

あじさいネット10周年記念企画として、医師、看護師、薬剤師とそれぞれの「あじさいネット」効果に関するユーザアンケートを行いました。

会員の皆さまには、お忙しい中アンケートにご協力して頂きありがとうございました。

今回は、5月10日開催の「第5回あじさいネット研究会」にて発表いたしましたアンケート集計結果を、掲載いたします。

【実施日】 2014年4月7日～5月2日 【対象者】 あじさいネット登録会員（医師254名）
【実施方法】 メールにてアンケート用紙配布（254通） 【回収数】 52通 【回収率】 20%



＜診療の質への効果＞	毎回使用する	頻繁(3回のうち2回程度)	たまに使用する	ほとんど使用しない	全く使用しない	その他(未回答含む)
1. 登録患者様の診療で、あじさいネットを利用する頻度はどれくらいですか？	13%	25%	48%	6%	4%	4%
	よくある	たまにある	ほとんどない	全くない	その他(未回答含む)	
2. 登録患者様の初診時に、あじさいネットを利用して、役にたったことがありますか？	56%	27%	7%	6%	4%	
3. あじさいネットにより、薬剤アレルギーを確認できた経験がありますか？	2%	21%	38%	33%	6%	
4. あじさいネットにより、他院での処方方を参考に処方した経験がありますか？	21%	44%	19%	12%	4%	
5. あじさいネットで、入院中の登録患者様の経過を確認したことがありますか？	65%	23%	0%	8%	4%	
6. あじさいネットで、診療情報を参照することにより、大病院へ紹介することなく診療が完結した、もしくは、入院を予防したことがありますか？	0%	23%	38%	33%	6%	
7. あじさいネットで、他職種の情報共有を閲覧することがありますか？	17%	38%	14%	27%	4%	
8. あじさいネットがなければ知り得なかった重要な診療情報を、知り得た経験がありますか？	38%	48%	6%	4%	4%	
9. あじさいネットで、退院時要約を閲覧することがありますか？	46%	33%	13%	4%	4%	

＜生涯教育効果＞	よくある	たまにある	ほとんどない	全くない	その他(未回答含む)
1. あじさいネットを使って、最新医療の知識を得られたことがありますか？	17%	52%	19%	6%	6%
2. あじさいネットで知った治療を、自院で実施されたことがありますか？	2%	40%	31%	21%	6%
	自身の専門分野	専門外や他科の分野	両方	いずれも役に立たない	その他(未回答含む)
3. あじさいネットで役に立つのは、ご自身の専門分野ですか？、それとも専門外や他科の分野ですか？	2%	19%	73%	0%	6%

＜地域医療への貢献＞	そう思う	ややそう思う	あまり思わない	全く思わない	今は貢献していないが、 今後はそうなると思う	その他(未回答含む)
1. あじさいネットを使用することで、地域完結型医療の実現に貢献すると思われますか？	58%	34%	4%	0%		4%
2. あじさいネットにより、在宅診療の質に貢献していると思われますか？	42%	27%	4%	0%	23%	4%

＜患者満足度評価＞	よくある	たまにある	ほとんどない	全くない	その他(未回答含む)
1. あじさいネットを利用していることで、登録患者様に喜ばれたことがありますか？	31%	44%	11%	8%	6%
3. あじさいネットを利用することで、登録患者様の不安や不満を軽減することができたというご経験はありますか？	50%	27%	9%	10%	4%
	そう思う	ややそう思う	あまり思わない	全く思わない	その他(未回答含む)
2. あじさいネットは、患者さんにメリットがあるシステムだと思いますか？	77%	17%	0%	2%	4%

<医療費削減効果>	よくある	たまにある	ほとんどない	全くない	その他(未回答含む)	
1. あじさいネットを利用することで、検体検査や画像検査などを控えたことがありますか？	36%	37%	15%	8%	4%	
	そう思う	ややそう思う	あまり思わない	全く思わない	その他(未回答含む)	
2. あじさいネットのようなネットワークが全国に広がれば、医療費削減効果があると思いますか？	51%	39%	6%	2%	2%	
【その他】	そう思う	ややそう思う	あまり思わない	全く思わない	その他(未回答含む)	
1. あじさいネットのようなネットワークについて、診療報酬で評価することについて妥当だと思われますか？	58%	25%	9%	6%	2%	
	0~20%	21~40%	41~60%	61~80%	81%~	その他(未回答含む)
3. ご自身の診療において、あじさいネットの必要度はどれくらいになりますか？0%~100%でお答えください。	6%	17%	15%	21%	37%	4%



【実施日】 2014年4月7日~5月2日 【対象者】 あじさいネット登録会員(看護師26名)
 【実施方法】 メールにてアンケート用紙配布(26通) 【回収数】 19通 【回収率】 73%

<診療の質への効果>	毎回使用する	頻繁(3回のうち2回程度)	たまに使用する	ほとんど使用しない	全く使用しない	その他(未回答含む)
1. 登録患者様の対応で、あじさいネットを利用する頻度はどれくらいですか？	10%	11%	47%	16%	11%	5%
	よくある	たまにある	ほとんどない	全くない	その他(未回答含む)	
2. あじさいネットにより、薬剤アレルギーを確認できた経験がありますか？	0%	0%	5%	95%	0%	
3. あじさいネットで、入院中の登録患者様の経過を確認したことがありますか？	11%	26%	16%	47%	0%	
4. あじさいネットで、他職種の情報共有を閲覧することができますか？	10%	16%	37%	37%	0%	
5. あじさいネットがなければ知り得なかった重要な診療情報を、知り得た経験がありますか？	5%	16%	48%	26%	5%	
6. あじさいネットで、退院時要約を閲覧することができますか？	0%	21%	11%	68%	0%	
7. あじさいネットにより、より細やかな患者指導ができることがありますか？	0%	47%	11%	42%	0%	
8. あじさいネットで、看護記録を閲覧することができますか？	10%	16%	11%	63%	0%	
9. あじさいネットにより、ADLやリハビリテーションの情報を得ることがありますか？	0%	5%	37%	53%	5%	

<生涯教育効果>	よくある	たまにある	ほとんどない	全くない	その他(未回答含む)
1. あじさいネットを使って、最新医療の知識を得られたことがありますか？	0%	6%	44%	50%	0%

<地域医療への貢献>	そう思う	ややそう思う	あまり思わない	全く思わない	今は貢献していないが、今後はそうなると思う	その他(未回答含む)
1. あじさいネットを使用することで、地域完結型医療の実現に貢献すると思えますか？	10%	63%	5%	11%		4%
2. あじさいネットにより、在宅診療の質に貢献していると思えますか？	16%	26%	5%	5%	37%	11%

<患者満足度評価>	よくある	たまにある	ほとんどない	全くない	その他(未回答含む)
1. あじさいネットを利用していることで、登録患者様に喜ばれたことがありますか？	0%	11%	42%	42%	5%
3. あじさいネットを利用することで、登録患者様の不安や不満を軽減することができたというご経験はありますか？	0%	26%	21%	53%	0%
	そう思う	ややそう思う	あまり思わない	全く思わない	その他(未回答含む)
2. あじさいネットは、登録患者様にメリットがあるシステムだと思いますか？	5%	68%	21%	5%	0%

【実施日】 2014年4月7日～5月2日 【対象者】 あじさいネット登録会員（薬剤師63名）
 【実施方法】 メールにてアンケート用紙配布（63通） 【回収数】 25通 【回収率】 40%



＜診療の質への効果＞	毎回使用する	頻繁(3回のうち2回程度)	たまに使用する	ほとんど使用しない	全く使用しない	その他(未回答含む)
1. 登録患者様の対応で、あじさいネットを利用する頻度はどれくらいですか？	40%	28%	28%	4%	0%	0%
	よくある	たまにある	ほとんどない	全くない	その他(未回答含む)	
2. 初めて登録患者様に会った際に、あじさいネットを利用して、役にたったことがありますか？	40%	44%	4%	8%	4%	
3. あじさいネットにより、薬剤アレルギーを確認できた経験がありますか？	0%	24%	36%	40%	0%	
4. あじさいネットにより、他院での処方方を参考に調剤した経験がありますか？	16%	24%	20%	32%	8%	
5. あじさいネットで、入院中の登録患者様の経過を確認したことがありますか？	36%	28%	20%	16%	0%	
6. あじさいネットにより、重複投与を予防した経験がありますか？	0%	20%	40%	40%	0%	
7. あじさいネットがなければ知り得なかった重要な診療情報を、知り得た経験がありますか？	68%	28%	0%	4%	0%	
8. あじさいネットで、退院時要約を閲覧することができますか？	28%	32%	20%	16%	4%	
9. あじさいネットは、服薬指導の際に有用であった経験がありますか？	60%	32%	4%	4%	0%	
10. あじさいネットで、薬剤の副作用が起きているかどうかについて調べることができますか？	16%	60%	12%	12%	0%	
11. あじさいネットにより、ブレアポイドにつながった経験がありますか？	0%	44%	32%	24%	0%	
12. 病院での服薬指導記録を自院の服薬指導の参考にすることができますか？	24%	48%	4%	20%	4%	
＜生涯教育効果＞	よくある	たまにある	ほとんどない	全くない	その他(未回答含む)	
1. あじさいネットを使って、最新医療の知識を得られたことがありますか？	8%	60%	12%	20%	0%	
＜地域医療への貢献＞	そう思う	ややそう思う	あまり思わない	全く思わない	今は貢献していないが、今後はそうなると思う	その他(未回答含む)
1. あじさいネットを使用することで、地域完結型医療の実現に貢献すると思われますか？	68%	28%	4%	0%		0%
2. あじさいネットにより、在宅診療の質に貢献していると思われますか？	40%	24%	4%	0%	32%	0%
＜患者満足度評価＞	よくある	たまにある	ほとんどない	全くない	その他(未回答含む)	
1. あじさいネットを利用していることで、登録患者様に喜ばれたことがありますか？	8%	64%	24%	4%	0%	
2. あじさいネットは、患者さんにメリットがあるシステムだと思いますか？	76%	20%	0%	0%	4%	
3. あじさいネットを利用することで、登録患者様の不安や不満を軽減することができたというご経験はありますか？	24%	44%	16%	16%	0%	
＜医療費削減効果＞	そう思う	ややそう思う	あまり思わない	全く思わない	その他(未回答含む)	
1. あじさいネットのようなネットワークが全国に広がれば、医療費削減効果があると思いますか？	40%	40%	16%	0%	4%	

【その他】	そう思う	ややそう思う	あまり思わない	全く思わない	その他 (未回答含む)	
1. あじさいネットのようなネットワークについて、診療報酬で評価することについて妥当だと思いますか？	52%	32%	12%	4%	0%	
	0~20%	21~40%	41~60%	61~80%	81%~	その他 (未回答含む)
3. ご自身の診療において、あじさいネットの必要度はどれくらいになりますか？0%~100%でお答えください。	4%	4%	16%	16%	52%	8%

以下、「あじさいネット」効果に関するアンケート回答より、有用エピソードと皆さまのご意見を抜粋しました。

●あじさいネットを用いない地域医療連携と比較して、あじさいネットによる連携はどのような点が優れていると思われるかご記載ください。

職種	
医師	1 より詳しい治療内容を知ることができる。
	2 他病院での経過・病状がリアルタイムでわかること。
	3 診療に必要な多くの情報を得ることができ、診療情報提供書も簡単なもので済む。
	4 患者自身から聞く病院での診療内容・方針はあやふやな事が多かったが、実際のカルテを参照できることで正確な内容を把握できる。また、癌患者の化療内容の変更・薬剤の減量などがすぐにはっきりするので、副作用対策などの準備もスムーズである。何よりも、患者家族からの信頼度が上がっている。
	5 基幹病院への紹介患者における診療・情報の共有の連続性、逆紹介患者の受診前の状況での情報収集における先行性に優れていると思われる。
	6 開業医で治療できない重篤な疾患(例えば癌)を持つ患者さんの治療経過がわかる。
	7 大きな病院での以前及び今回の診療経過が見られるため、特に在宅の患者では自院で対応できるケースが広がる。情報がなかったら紹介せざるを得ない患者が多かった。
	8 患者の情報共有がスムーズに行え、大病院へ紹介した後の経過が、担当医に問い合わせなくてもほぼリアルタイムに状況を把握できることが優れていると思われる。
	9 在宅移行の際の事前情報取得にかかせない存在となっている。
	10 病院の情報をフィルターなしに見ることができるので、自分が欲しい情報を得ることができる点がすぐれていると思います。
	11 地域全体で情報の共有ができることで診療の質が向上する。
	12 片方向性で誰でも気軽に使用できる点。
	13 スピード、ネットワークの広さ(登録医療機関数など)。
	14 患者や訪問看護師に情報をその場で伝えられる。
	15 <ul style="list-style-type: none"> ・ 即時性 ・ 正確性(紙では伝わらないことも分かる) ・ 安全性(禁忌情報、針刺し回数の減少) ・ 普遍性(囲い込みで無いこと、情報提供したいという意志のある医療機関なら加入できる)
	16 情報共有することの敷居が低くなる。
	17 患者さん主体の医療に親和性が高い。病診連携が深まる。
薬剤師	18 患者様の正確な病状と主治医の治療方針が分かった上で投薬できる。
	19 主治医の意向にそってケアが可能になり、食い違いがなくなる。
	20 タイムリーに正確な情報が的確に取れること。
	21 全ての情報を見ることができ、聞き取りで漏れた所等も確認できる。
	22 情報が豊富で、見たい、知りたいものを自分で選ぶ事ができ、患者さんには負担をかけない。
	23 あじさいのメール機能を時々利用しますが、面識の少ない医師とも連携が取れるのと、診療の邪魔にならずに連絡が取れるため、よりきめ細やかな患者さまへの対応に役立っています。
	24 会員制によるシステム運用維持。薬剤師や看護師を含めた連携が取れる点。
	25 情報提供病院を利用している患者の場合、シームレスな情報共有が可能になり、処方せんのみではできない薬剤管理指導が可能になると思う。
	26 検査値、カルテ内容等、情報量の差。
27 時間と場所に縛られない点。	

●あじさいネットを使っていて、診療の面で有用だと思ったエピソードがあればご記載ください。

※看護師はあじさいネットを使用開始して間もないため回答数が少なくなりました。

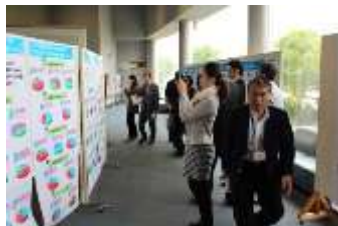
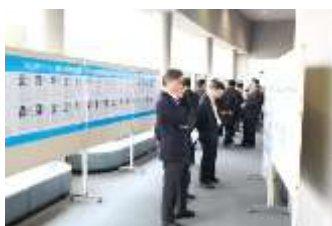
職種			
医師	1	紹介患者の精査・治療経過を知ることができ、診療所のゲートキーパーとしての診断、対応が適正であったかを検証できた。	
	2	診断困難で紹介しているいろいろな検査で診断がついたとき。	
	3	幾つかの病院を経由して診療する時、一番大元の疾患の詳細な内容が分かった。	
	4	病院の外来受診した患者が検査をしたとき、内容が把握できて目の前の診療に役立ったことはよく経験する。	
	5	腎機能障害を認めた患者の中核病院の過去データを閲覧することで、経過が急性の変化であることが判明し、対応することができた。当院初診の患者の情報を閲覧することで既に中核病院で診療中の疾患の症状であることが判明し、当院では検査等を行わず、既に診療している中核病院へ再診するよう説明して勧めることができた、など。	
	6	癌患者の経過が知りたくてあじさいネットを利用している。新しい治療法、薬を知ることができた。	
	7	検査結果だけでなく、オーダーフォームや説明内容の記載を見ることにより、より深い理解ができる。	
	9	悪性疾患の病理結果を早く判明し、患者へ説明できる。	
	10	患者さんのfollowをしている時に、主治医からうまく説明を受けていないと感じることがあります。そういう時にデータなどを一緒に見ながら説明すると理解してくれる場面が結構あります。	
	11	あじさいモバイルを在宅患者宅でDr.が閲覧したり、患者に見せることで、説明が大変スムーズになった。	
	12	1.情報提供病院での説明に納得されていない患者さんに、同じデータを使って同じような説明を言葉をかみ砕いて説明して誤解が解けた時。 2.紹介して入院した患者さんから入院中の治療について質問を受けた時、real timeに医師記録を見ながら説明ができた。 3.内服薬を調べ、抗凝固剤内服患者であることがわかり、治療の方法を変えた。	
	14	めまいを訴えて来院された方が既にMRIを受けておられる場合、ダブルチェックが出来ます。逆に、あじさいネットワークが始まる前の時代に「ダブルチェックできていればなあ」と思った症例もあります。	
	15	最近、患者さんやその家族から感謝されることが多い。	
	16	一人暮らしの認知症患者の後見人の書類作成の際。	
	17	基幹病院通院中の患者さんが風邪・腹痛などで来院した時は必ず診療内容をチェックする。	
	看護師	18	在宅医療において、紙ベースよりタイムリーで簡便な連携が取れる。もっと登録者が増えれば価値が増える。
		19	入院中の症状、ICの内容等、経過を退院後に役立てることができる。利用者、家族の視点でなく、医療者の視点でアセスメントできる。
薬剤師	20	①患者が訴える副作用をDR.は把握していることを確認し、その上で治療を継続していることを患者に伝えたと、患者が安心した。 ②薬剤服用理由がわからず、治療に対して不信感を抱いている患者に、DR.の処方意図を紹介したところ、アドヒアランスが向上した。 ③②と重なるが、家族の血糖降下薬服用理由を不審に思っていた為、血糖値を紹介し、服用理由を説明したところ納得した。 ④検査値データより薬剤による副作用かどうか判断しやすい。 ⑤処方変更理由・処方意図が不明な際、あじさいネットで確認することで疑義照会回数が減少。	
	21	医師からの診断内容を理解していなかった患者に対してあじさいネットで確認し、服薬指導に利用した。患者は改めて診断内容を正しく理解することができた。 患者が行っている検査や診断・治療内容を把握することで、その経過を確認し服薬指導に生かすことができた。	
	22	・患者様の検査値等を先に把握する事ができ共感ができる。 ・患者様が主治医から言われた事(圧迫骨折)を理解されておらず、こちらで説明し納得され、後日入院加療された。	
	23	あじさいネットで得られるたくさんの情報で、患者さまに色々と質問をして、診断や病態を予測しなくてもすむので落ち着いて対応ができるし、患者さまにも不快な思いをさせなくて済んでいると思います。	
	24	身長・体重等を尋ねて体表面積補正を外したGFRIにもとづいて疑義照会した経験有り。TDM対象薬で薬物動態解析を実施して服薬指導に役立てた。HbA1cを元に服薬指導を実施している。全体的に検査値や医師のカルテを参考に服薬指導しており、レベルアップが図られている。	
	25	患者様より薬関係についての情報は得られたが、輸血をしている等の病院での情報は得られなかったので助かりました。	
	26	糖尿病患者さんの血液検査結果をグラフ化された経過としてみる事ができる。 腎機能を確認することで薬剤が適正に使用されているか確認できる。	
	27	カルテ記載内容と処方内容の違いに気づき、処方医に確認を取ることができた。	
	28	検査値の推移がわかり、副作用チェックの点からも有用。	
	29	外来化学療法や時系列で確認できる検査値などが薬物療法の管理に有用と感じる。	

あじさいネット研究発表会では、下記のように、集計結果の円グラフをパネルにして、展示させて頂きました。



これらのアンケート集計結果は、あじさいネット研究会に御来訪された方々より、大変好評を頂きました。

MEDIFAXweb（2014年5月12日版）に、アンケート集計結果が大きく掲載され、また、関係機関よりデータ提供を依頼されるなど、その注目度は大きいものでした。



※このアンケートは、6月末まで引き続き回答を受け付けておりました。

会員の皆さまには、お忙しい中、ご協力頂きまして、大変感謝しております。

アンケート集計結果につきましては、以下までお問い合わせをお願いいたします。

長崎県医師会 長崎県あじさいネット拡充プロジェクト室

Tel: 095-894-9655

Fax: 095-894-9651

E-mail: ajisai-project@nagasaki.med.or.jp

今後もあじさいネットを、よろしく願います。

●● 新規情報提供病院のご案内 ●●

平成26年5月1日より、貞松病院（大村市）が情報提供病院として運用を開始しました。





HOGY®

一步先の手術室環境づくりをお手伝いします。

ホギメディカルでは、不織布・キット製品など感染対策製品および理想的な病院経営を総合的にサポートする手術管理システムをご提供しております。

国内最大級の生産・滅菌システムと全国25箇所の営業所ネットワークによって安定的な製品提供ならびにお客様サポートで「安心」をお届けしております。

株式会社 **ホギメディカル**

本社：東京都港区赤坂2-7-7 TEL:03-6229-1300 FAX:03-6229-1344

Empowered by innovation **NEC**



見つめているのは、
人びとの暮らしです。

人びとが安全・安心で豊かに暮らせる社会のために、
私たちは先進的なICTで貢献します。

お問い合わせは、NEC(高層ソリューション事業部)へ
〒105-8001 東京都港区芝浦5丁目7-1 (NECビル) TEL:03-5795-6756

<http://jpn.nec.com/>

THE KAITEKI COMPANY 三菱ケミカルホールディングスグループ

2014年4月1日、弊社(旧三菱化学メディエンス株式会社)は社名を変更しました。



株式会社LSIメディエンス

ヘルスケアの未来を変えていく。

健康で安心な社会を創造していくというビジョンのもと、より多くの人々にKAITEKIを届けてまいります。

LSIメディエンスは、三菱ケミカルホールディングスグループの新たな事業会社として2014年4月1日に発足した株式会社生命科学インスティテュート(Life Science Institute, Inc.: LSI)のグループ企業となりました。



株式会社LSIメディエンス

〒101-8517
東京都千代田区外神田一丁目13番4号
THE KAITEKIビル

- 臨床検査(生化学的検査・免疫学的検査・血液学検査・微生物学的検査・遺伝子検査検査・病理学的検査・その他検査)
- 産科分娩支援サービス ● 産科検定サービス ● 検査器具用消耗品(検体容器用器具・試薬等の検体・検査・検体及び輸出入)
- 医薬品情報支援サービス(医薬品学飲支援・歩留率試験・製剤試験) ● ビジネスによる業務・産性評価 ● 遺伝子・タンパク質解析
- 医薬品・製薬・化粧品・食品原料等・化粧品等における安全性評価・環境リスク評価サービス
- 食の安全サポート ● ドーピング検査

あじさいネット入会方法のご案内

1. 入会

入会申込書を事務局宛に送っていただきます。
所属医師会が入会している場合は個人の入会金は無料です。
所属医師会が入会していない場合は、入会金が 50,000 円 必要となります。尚、初期設定費用として別途 30,000 円 を承ります。

2. 利用料金

月々4,000 円 (レセプトオンライン請求も希望の場合は 5,000 円)
と 年 3,000 円 のウイルス対策ソフトライセンス料が必要です。ウイルス対策ソフトライセンス料とあわせて年間一括払いをお願い致します。

*TV 会議システム及び、遠隔画像診断システムの回線のみのご利用の場合も同額の料金となります。尚、高品質遠隔画像診断システムでは別途診断料金がかかります。

3. 機器の設置

機器設置用ヒアリングシートに必要事項をご記入の上、事務局宛にファックスまたは郵送願います。
シートに基づいて専門スタッフ (NTT フィールドテクノ九州) が設置、動作確認に参ります。

4. 運用講習会

利用法の運用講習会です。講習後『講習会受講修了証』とアクセス専用 ID と仮パスワードをお渡し致します。

5. 同意書と登録

患者さまにあじさいネットに関する説明を行い、あじさいネットに参加するための同意書をご記入いただきます。取得した同意書は診療情報閲覧を希望する情報提供病院の医療連携室宛にファックスで送付して下さい。約 10 分後に連携室より手続き終了の FAX が届きます。この段階で利用可能です。

6. あじさいネットポータルサイトへのログイン

アクセス専用 ID・パスワードにてあじさいネットのポータルサイトにログインし、同意を得た患者さまの診療情報を閲覧することができます。

*手続き上、必要な様式ならびに同意書につきましては HP からダウンロードできます。



入会等に関するお問い合わせ先

あじさいネット事務局(長崎県医師会事務局内) 担当: 三浦・苑田
電話 095-844-1111 FAX 095-844-1110

奥平先生は、紙面3ページにてご紹介
しています。

◆4コマ漫画作者: 詫摩和彦 先生◆
長崎市医師会所属
長崎在宅 Dr. ネット理事

編集後記

今年度のあじさいネット研究会は、創立10周年ということで発祥の地「大村」にて、「創立10周年記念 第5回あじさいネット研究会」と称して、5月10日(土)に開催いたしました。今回ほとんどPRしなかったにもかかわらず、全国より過去最多260名超もの方々にご参会いただき、盛會に終わることができました。今回は、「あじさいネットを在宅医療でどう活用するのか?」というテーマで繰り広げましたが、今後ますます重視される在宅医療での活用の実態とその価値、また、可能性が示され、ICTネットワークを活用した理想の「地域完結型医療」像を十二分に示せたものと思います。発表内容は、これまでで最も充実していたという好評価を多くの方からいただきました。あじさいネットは、全国から注目され、最近では特に効果について尋ねられることが増えていることもあり、今回の企画の一つとして「あじさいネットの効果に関するアンケート」を実施しました。ご協力いただきました方々に深く感謝申し上げます。今後もこのような効果を示していくことが、あじさいネットの責務でありますので、今後のアンケートにもご協力、何卒よろしくお願いいたします。

また、当日研究会会場ロビーでは、これまであじさいネットの普及・発展に強くかかわっていただき、ご尽力いただきました皆様方の祝福コメントを、発表展示させていただきました。次の10年後にあじさいネットが、どのような形に変化・進化しているのか大変楽しみに思います。

*ご感想は、あじさいネット事務局「aj-na@nagasaki.med.or.jp」までお願いいたします。

あじさいネット OFF LINE 通信 編集長 松本 武浩

広報誌に関わるご意見・ご要望は、長崎県医師会 長崎県あじさいネット拡充プロジェクト室までお寄せください。
電話 095-894-9655 FAX 095-894-9651 ajisai-project@nagasaki.med.or.jp
最新の情報は、HP をご覧ください。 <http://www.ajisai-net.org/>